

1 第1期実施計画における記載内容（第1期実施計画19頁より）

- 普通科においては、金木高校、板柳高校、鶴田高校における特色ある教育活動を引き継ぎ、国際理解、地域ビジネス、生活産業等に関する教育に取り組みます。
- 工業科においては、引き続き、地域の産業構造に合わせた学習に取り組むとともに、高度な技術を身に付けた工業技術者を育成するため、最先端技術の学習における職業能力開発大学校との連携等を推進します。

2 西北地区統合校に引き継ぐべき特色ある教育活動

論 点

4校から提示された案をもとに、西北地区統合校に引き継ぎたい4校の特色ある教育活動としてどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【引き継ぐべき特色ある教育活動の方向性】

【4校からの提案内容】

<p>金木高校</p>	<p>○総合的な探究の時間（郷土を知る、深める、広める） 本校の総合的な探究の時間は、斜陽館及び三味線会館の見学や「かなぎ元気倶楽部」の協力による講義及び実習を通して郷土について学び、地域資源を引き継いでいくための方法等について考え、そのアイデアを地域で実際に展開することを目標として実施している。</p> <p>○地域に貢献するボランティア活動 本校生徒がこども園・老人介護施設へ出向いてボランティア活動を実施したり、こども園の園児を本校体育祭に招待し交流している。 走れメロスマラソンの運営スタッフとして活動するほか、地域の方々からアドバイスをいただきながら「金木町のお土産品」を考案し、作成・販売に関わっていくこと（カナプロ）で地域を活性化する役目を担っている。</p>
<p>板柳高校</p>	<p>○小・中学校との交流活動 本校生徒が町内各小学校に出向き、小学生のキャリア教育の一つとして、高校の部活動体験会を実施し交流をしている。 板柳町内の小学校、中学校、高校が合同で募金活動を実施している。</p>
<p>鶴田高校</p>	<p>○英語合宿 複数のALTと岩木青少年スポーツセンターで英語合宿を行い、外国の文化や習慣に理解を深めるとともに、海外研修旅行に向けて英語の運用能力を養成している。</p> <p>○海外研修旅行 10月末から7日間、国際教養コースの2年生が、鶴田町の姉妹都市である米国フードリバー市を訪問している。フードリバーバレー高校との交流の中で、5泊6日のホームステイを実施し、プレゼンテーションなどの貴重な体験を積むことができている。この研修旅行は、鶴田町とフードリバーとの相互交流の上に成り立っており、現地でも手厚いサポートを受けることができている。</p> <p>○English Day 複数のALTによるクリスマスに関するプレゼンテーション、ALTとともに楽しむクリスマスランチ、校内の予選を勝ち抜いた生徒たちによる英語でのスピーチ、2・3年国際教養コースの生徒たちによる、全校生徒を対象とした英語での演劇などを1日で実施している。</p>

	<p>○(鶴高の)恩返しプロジェクト</p> <p>鶴の舞橋写真コンテストの企画・運営、普通コースの生徒が修学旅行の際、鶴田町の特産品や、舞橋の写真を利用してつくったカレンダーなどを、自主研修先の京都府民や観光客に配布する観光大使などの活動を行っている。</p>
<p>五所川原 工業高校</p>	<p>○工業教育に係る取組</p> <p>各学科に関連する高度な資格取得へのチャレンジと各種技術、技能コンテストへの出場を通じて、実社会に直結した専門分野の知識、技術、技能を高めている。</p> <p>○学校公開と体験入学</p> <p>中学生、小中学校教職員、保護者、地域住民を対象に、学校施設の見学及び授業や実習参観を実施している。</p> <p>中学3年生とその保護者を対象に、学校の教育活動と各学科の学習内容の説明及び学校の施設設備を使用した体験実習を実施している。</p> <p>○異校種交流学习と高大連携</p> <p>小学校中高学年を対象に、学校施設見学と課題研究で制作した作品の操作体験、実習体験を実施している。</p> <p>東北職業能力開発大学校青森校との間で、ものづくりの技術技能の支援を中心に連携を深めている。</p> <p>○地域貢献の取組</p> <p>「ごしょがわら産業まつり」等の地域イベントへの参加や全校で取り組むボランティア活動を通じて、広く教育活動の成果を紹介するとともに、地域社会との連携を深めている。</p>

3 西北地区統合校の新たな特色ある教育活動

論 点

西北地区統合校の特色ある教育活動について、現在、4校で取り組まれていない新たな教育活動としてどのようなことが考えられるかという視点で協議する。

【新たな特色ある教育活動の方向性】